取扱説明書

つなぎかたガイド

NEC

接続・設定するときにお読みください

NWA-A11696-002-00
2024 年 3 月

Aterm WG1200DM4 PA-WG1200DM4

お問い合わせ先：裏面の「お問い合わせ」を参照してください。

本書は、読んだあとも大切に保管してください。　技術基準適合認証品

ユーザーズマニュアル は製品サポートページに掲載の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。(☛ 裏面「本機器の取扱説明書について」)

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

重　要

本機器をご利用になる前に、必ず、裏面の「自動バージョンアップ機能・保守サービス機能に関する許諾について」をお読みください。

バージョンアップ中は、POWER ランプが橙点灯しますので、絶対に本機器の電源を切らないでください。
※バージョンアップ中は、本機器に接続している端末との接続は切断され、数分間インターネット通信などができなくなります。

POWER 橙点灯

このたびはAterm WG1200DM4をご利用いただき、まことにありがとうございます。
Aterm WG1200DM4（以下、本機器と呼びます。）は、IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11bの無線LAN規格に準拠した、IPv6対応のWi-Fi（無線LAN）ホームルータです。

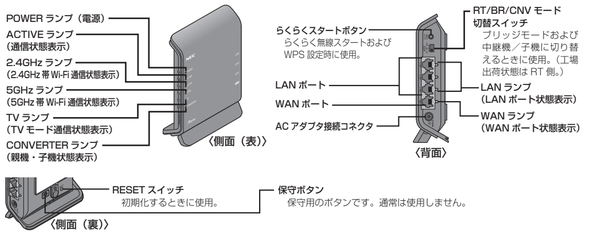
箱の中身を確認する

不足しているものがありましたら、本機器の入手元にご連絡ください。

□ WG1200DM4　□ スタンド

＜添付品＞
□ AC アダプタ
□ LAN ケーブル（カテゴリ 5e ストレート）
□ つなぎかたガイド（本書）
□ らくらく QR スタート用 QR コード（シール）
装置ごとに異なりますので、大切にお取り扱いください。

各部の名称



設置・接続をはじめる前に

事前に準備してください

● 接続事業者／プロバイダから提供された、インターネット接続設定用 ID（ユーザ名・ユーザ ID・認証 ID など）とパスワードが記載された書類を、お手元に準備してください。
※接続事業者／プロバイダなどのサービスによっては、不要の場合もあります。

● 本機器をより安全にお使いいただくため、本機器の暗号化キーと管理者パスワードを決めて、控えておいてください。（**STEP4** で設定します。）

［暗号化キー］
暗号化キーとは、Wi-Fi 接続するためのパスワードです。セキュリティ キー、パスフレーズ、ネットワークキーとも呼ばれます。工場出荷状態では本機器のラベルに記載された値となりますが、本機器をより安全にお使いいただくため、**STEP4** にて、2.4GHz 帯、5GHz 帯それぞれに任意の文字列を設定します。あらかじめ決めて、下記の「暗号化キー控え欄」に控えておきましょう。
※英大文字小文字、数字、記号を組み合わせた 13 桁以上の文字列をお勧めします。
※名前や生年月日、同一数字など、他人に推測されやすい文字列の使用は避けてください。また、複数の機器やサービス間での使い回しはしないでください。
※使用できる文字は、8 ～ 63 桁の半角英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、記号 ユーザーズマニュアル ）、または半角 64 桁の 16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）です。
※Wi-Fi 設定引越し機能で、既存の親機の Wi-Fi 設定内容を引き継いだ場合は、**STEP4** での暗号化キーの変更は不要です。

暗号化キー控え欄
2.4GHz 帯：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
5GHz 帯　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

［管理者パスワード］
管理者パスワードとは、本機器の設定画面を開く際のパスワードです。工場出荷状態では本機器のラベルに記載された英数字 8 桁のパスワード（Web PW）となりますが、本機器をより安全にお使いいただくため、**STEP4** にて任意の文字列を設定します。あらかじめ決めて、下記の「管理者パスワード控え欄」に控えておきましょう。
※英大文字小文字、数字、記号を組み合わせた 10 桁以上の文字列をお勧めします。
※名前や生年月日、同一数字など、他人に推測されやすい文字列の使用は避けてください。また、複数の機器やサービス間での使い回しはしないでください。
※使用できる文字は、0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、-（ハイフン）、_（アンダースコア）で、最大半角 64 桁まで有効です。

管理者パスワード控え欄

既存の親機と入れ替える場合は

● 既存の親機が WPS に対応している場合
Wi-Fi 設定引越し機能で、それまで使用していた Wi-Fi 設定内容［ネットワーク名（SSID）および暗号化キー］を本機器に引き継ぐことができます。（子機の Wi-Fi 接続設定は変更せずに使用できます。）
Wi-Fi 設定引越し機能の設定方法や詳細については、ユーザーズマニュアル を参照してください。
Wi-Fi 設定引越しが完了したら、**STEP1** → **STEP3** → **STEP4** の順にお進みください。
※既存の親機の仕様によっては、引き継ぎがうまく動作しない場合があります。ユーザーズマニュアル

● 既存の親機が WPS に対応していない場合
既存の親機を取り外したあと、**STEP1** → **STEP2** → **STEP3** → **STEP4** の順にお進みください。

ブリッジモードで使用する場合は

裏面の「ブリッジモードで使用する場合は」を参照してください。

中継機／子機として使用する場合は

裏面の「中継機／子機として使用する場合は」を参照してください。

STEP 1 本機器を設置して電源を入れよう

★本書では、無線LANアクセスポイントを親機、無線LAN端末を子機と呼びます。

※前後左右 5cm、上 5cm以内に他の機器や壁などがない場所に設置してください。壁掛けの場合は、壁掛け面を除きます。

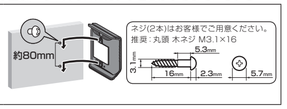
❶ スタンドを取り付ける

■縦置きの場合
本体底面に差し込みます。

■横置き / 壁掛けの場合
本体上部に差し込みます。

① スタンドの左右のツメを、本体（底面または上部）の左右の穴に差す
② スタンドを傾け、中央のツメを、本体（底面または上部）の中央の穴にカチッと音がするまで差し込む

＜壁掛ける場合の取り付けかた＞
1. 本体上部にスタンドを取り付ける
2. 壁に、縦に 2 箇所ネジを取り付ける（ネジの間隔：約 80mm）
3. ネジに、本体側面（裏）の取り付け穴を差し込み、下方向へスライドさせて固定する
※取り外すときは、本体の両側を手で持ち、上方向へスライドさせてから取り外してください。



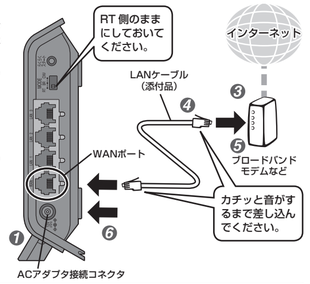
❷ パソコンの電源を切る
すでにインターネット接続している環境の場合は、ブロードバンドモデムなどに接続しているパソコンの電源を切り、パソコンから LAN ケーブルを外します。

❸ ブロードバンドモデムなどの電源を切る
＜ブロードバンドモデムの例＞
CATV モデム、ONU、ひかり電話対応ルータなど

❹ 本機器の WAN ポートとブロードバンドモデムなどを LAN ケーブルで接続する

❺ ブロードバンドモデムなどの電源を入れる

❻ 本機器の電源を入れ、約 60 秒待つ
AC アダプタを本機器と電源コンセントに接続すると、本機器の電源が入ります。いったん側面（表）のすべてのランプが緑点灯します。正常動作するまで約 60 秒お待ちください。



⚠警 告
● AC アダプタは、必ず本機器に添付のものをお使いください。また、本機器に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
● AC アダプタをコンセントに差し込んだ状態で、AC アダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。火災、感電、故障の原因となります。

● ACTIVE ランプが速い緑点滅をしている場合は
→ 動作モードの自動判定中です。しばらくお待ちください。
● 5GHz ランプ、TV ランプが橙点滅している場合は
→ 電波干渉を避けるためにチャネルをサーチしています。さらに約 60 秒お待ちください。

❼ 本機器の POWER ランプが緑点灯、ACTIVE ランプが消灯または緑点灯、2.4GHz、5GHz、WAN ランプが緑点灯または緑点滅になることを確認する

※ WAN ランプが消灯している場合は、LAN ケーブルの接続状態やブロードバンドモデムなどの電源を確認してください。

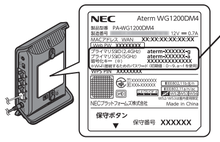
続いて、工場出荷状態の本機器に、ご利用の子機から Wi-Fi 接続します。**STEP2** へお進みください。
※ Wi-Fi 設定引越し機能で、既存の親機の Wi-Fi 設定内容を引き継いだ場合は、**STEP3** → **STEP4** の順にお進みください。
※ 本機器に有線接続する場合は、本機器と端末（パソコンなど）の電源を切った状態で本機器の LAN ポートに端末を接続したあと、両方の電源を入れて約 60 秒待ち、**STEP3** → **STEP4** の順にお進みください。

STEP 2 工場出荷状態の本機器にWi-Fi接続しよう

★本書では、無線LAN端末を子機と呼びます。

工場出荷状態の本機器に、ご利用の子機から Wi-Fi 接続します。本機器のネットワーク名（SSID）および暗号化キーをご利用の子機に設定してください。
詳細な Wi-Fi 接続方法は、子機の取扱説明書などを参照してください。
※ チャネルが W56 に対応していない子機をご利用の場合は、本機器の「オートチャネルセレクト機能」を「使用しない」に変更して、「使用チャネル」を「W52」または「W53」に設定してください。設定は、クイック設定 Web（☛ 裏面「クイック設定 Web の起動方法」）の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定（5GHz）」画面で行ってください。

2 台目以降の子機は、下記「暗号化キーを変更した本機器に Wi-Fi 接続する」を参照してください。



本機器の工場出荷状態のネットワーク名（SSID）および暗号化キーは、本機器のラベルに記載されています。
※ 暗号化キーとは、Wi-Fi 接続するためのパスワードです。セキュリティ キー、パスフレーズ、ネットワークキーなどとも呼ばれます。

以下は Wi-Fi 接続方法の主な例です。

スマートフォン／タブレット端末の場合

らくらく QR スタートで Wi-Fi 接続する

Aterm らくらく QR スタートは、インターネット接続機能（LTE 通信や 3G 通信など）、カメラ機能に対応している端末で、無料でご利用いただけるアプリです。ただし、パケット通信料はお客様ご負担となります。利用可能な端末の最新情報は、下記の Web サイトでご確認ください。
（2024 年 3 月現在）
https://qr.aterm.jp/

❶［Aterm らくらく QR スタート］のアプリを検索して、インストールする

❷ ホーム画面などから［Aterm らくらく QR スタート］のアイコンをタップする
※ 起動後、しばらくすると、カメラビューが表示されます。

❸ カメラビューで、添付の［らくらく QR スタート用 QR コード］を読み取る
※ カメラビュー内の読み取り範囲内に QR コードを表示させてください。自動的に QR コードを読み取ります。

❹ Wi-Fi の設定内容が表示されたら、［設定適用］をタップする
※ iOS 端末の場合は、以降画面にしたがって設定を進めてください。

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

インターネット接続設定画面が表示された場合は、画面にしたがって設定してください。
※ 管理者パスワードを求められた場合は、本機器のラベルに記載された英数字 8 桁のパスワード（Web PW）を入力してください。
※「ユーザー ID」、「パスワード」は、お客様がご利用の接続事業者／プロバイダから提供されているインターネット接続設定用 ID（ユーザ名・ユーザ ID・認証 ID など）とパスワードを入力してください。
設定後、インターネットに接続できたら、**STEP4** へお進みください。

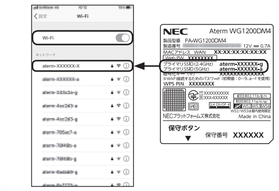
手動で Wi-Fi 接続する

※ 以下は iOS 端末を主な例に説明しています。機種・バージョンにより異なる場合があります。

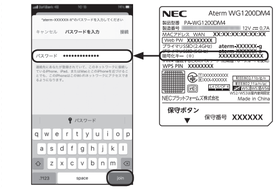
❶ ホーム画面などから［設定］をタップする

❷［Wi-Fi］をタップする

❸「Wi-Fi」をオンにして、本機器のプライマリ SSID と同じ名前をタップする
※ 本機器のプライマリ SSID は、本機器のラベルに 2.4GHz 帯、5GHz 帯ごとに記載されています。
映像視聴などの高速通信には 5GHz 帯の［aterm-XXXXXX-a］を選択するなど、ご利用環境によって選択してください。



❹「パスワード」に、本機器の暗号化キーを入力し、［Join］（または［接続］）をタップする
※ 暗号化キーとは、Wi-Fi 接続するためのパスワードです。セキュリティ キー、パスフレーズ、ネットワークキーとも呼ばれます。



❺ ステータスバーに下記のアイコンが表示されることを確認する

iOS 端末の一例　Android 端末の一例

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

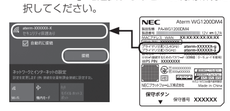
無線 LAN 内蔵パソコンの場合（Windows 10/8.1 の場合）

※自作のパソコンはサポート外となります。

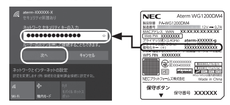
※ Windows 8.1 の場合は、［スタート］画面で［デスクトップ］を選択してからはじめてください。

❶ パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にする
※ 設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

❷ 通知領域（タスクトレイ）にあるネットワークアイコンをクリックする


Windows 10 の例

❸ ネットワークの一覧の中から、本機器のプライマリ SSID をクリックし、［接続］をクリックする
※ 本機器のプライマリ SSID は、本機器のラベルに 2.4GHz 帯、5GHz 帯ごとに記載されています。
映像視聴などの高速通信には 5GHz 帯の［aterm-XXXXXX-a］を選択するなど、ご利用環境によって選択してください。



❹ 本機器の暗号化キーを入力して［次へ］をクリックする
※ 暗号化キーとは、Wi-Fi 接続するためのパスワードです。セキュリティ キー、パスフレーズ、ネットワークキーとも呼ばれます。

WPS に対応した無線 LAN 内蔵パソコンの場合
WPS で設定できます。
手順❹の画面でボタン押下の案内が表示されたら、本機器のらくらくスタートボタンを長押し（約 6 秒）し、POWER ランプが緑点滅したら放します。
しばらくして Wi-Fi 接続が完了すると、POWER ランプが約 10 秒間橙点灯します。

※ 本機器の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順❶からやり直し、手順❹の画面で暗号化キーを入力してください。

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

STEP 3 インターネットに接続しよう

❶ Web ブラウザ（Microsoft Edge、Internet Explorer など）を起動する

❷ インターネットのホームページ（任意）にアクセスする
（例）製品サポートページの場合
（2024 年 3 月現在）
https://www.aterm.jp/sl-support/wg1200dm4/
アクセスできれば、インターネットの接続は完了です。

インターネットに接続できない場合は
● 本機器の設定画面「クイック設定 Web」を起動し、［装置情報］に表示されているメッセージを確認してください。
（☛ 裏面「クイック設定 Web の起動方法」）
● 接続事業者／プロバイダからインターネット接続設定用 ID（ユーザ名・ユーザ ID・認証 ID など）とパスワードが提供されている場合は、下記「接続事業者／プロバイダ情報の設定（PPPoE）」で設定してください。設定後、手順❶に戻って、再度インターネットに接続してください。

接続事業者／プロバイダ情報の設定(PPPoE)

1 クイック設定 Web を起動する
（☛ 裏面「クイック設定 Web の起動方法」）

2「装置情報」に表示されているメッセージにしたがって、［接続先の設定］をクリックする

3「接続先設定」画面で、接続事業者／プロバイダから提供されたインターネット接続設定用 ID（ユーザ名・ユーザ ID・認証 ID など）とパスワードを入力する

4［設定］をクリックする

5［OK］をクリックする

6「今すぐ再起動する」をクリックする
本機器が再起動します。

続いて、**STEP4** へお進みください。

STEP 4 セキュリティを強化しよう

★本書では、無線LANアクセスポイントを親機、無線LAN端末を子機と呼びます。

本機器をより安全にお使いいただくために、暗号化キーと管理者パスワードは、初期値（工場出荷状態の値）から変更してください。
複雑で長い文字列にして、安全性を高めることをお勧めします。
※ Wi-Fi 設定引越し機能で、既存の親機の Wi-Fi 設定内容を引き継いだ場合は、下記の手順❶、❸のみ実施してください。

❶ クイック設定 Web を起動する（☛ 裏面「クイック設定 Web の起動方法」）

❷ 暗号化キーを変更する
2.4GHz 帯、5GHz 帯それぞれに任意の文字列を設定します。
「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定 (2.4GHz)」画面で、「対象ネットワークを選択」にてプライマリ SSID を選択し、「暗号化」を開いて「暗号化キー」欄に左記「設置・接続をはじめる前に」で控えておいた 2.4GHz 帯の暗号化キー（任意の文字列）を入力して、［設定］－［後で再起動する］をクリックしてください。
ホーム画面に戻り、同様に 5GHz 帯の暗号化キーも設定してください。

❸ 管理者パスワードを変更する
ホーム画面に戻り、「詳細な項目を表示」－「メンテナンス」－「管理者パスワードの変更」画面で、「現在のパスワード」欄に手順❶でログインした初期値の管理者パスワード（Web PW）を入力し、「新しいパスワード」「新しいパスワード再入力」欄に左記「設置・接続をはじめる前に」で控えておいた管理者パスワード（任意の文字列）を入力して、［設定］－［OK］をクリックしてください。
本機器の再起動が完了したら［OK］をクリックしてください。

❹ **STEP2** で Wi-Fi 接続した子機を手動で Wi-Fi 接続し直す
暗号化キーを変更することで、子機からの Wi-Fi 接続は切断されます。
右記「暗号化キーを変更した本機器に Wi-Fi 接続する」を参照して、Wi-Fi 接続をし直してください。
※ 暗号化キーは、変更した値を入力してください。

以上で、設定は完了です。さらに詳細な機能をご使用になりたい場合は、製品サポートページ（ https://www.aterm.jp/sl-support/wg1200dm4/ ）に掲載されている ユーザーズマニュアル を参照してください。

暗号化キーを変更した本機器にWi-Fi接続する

★本書では、無線LAN端末を子機と呼びます。

暗号化キーを変更した本機器に、ご利用の子機から手動で Wi-Fi 接続します。
本機器のネットワーク名（SSID）および **STEP4** で変更した暗号化キーをご利用の子機に設定してください。（接続する子機は、15 台以下をお勧めします。）
詳細な Wi-Fi 接続方法は、子機の取扱説明書などを参照してください。
※ チャネルが W56 に対応していない子機をご利用の場合は、本機器の「オートチャネルセレクト機能」を「使用しない」に変更して、「使用チャネル」を「W52」または「W53」に設定してください。設定は、クイック設定 Web（☛ 裏面「クイック設定 Web の起動方法」）の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定（5GHz）」画面で行ってください。

2 台目以降の子機を Wi-Fi 接続する際は、下記を参照して手動で設定してください。

以下は Wi-Fi 接続方法の主な例です。

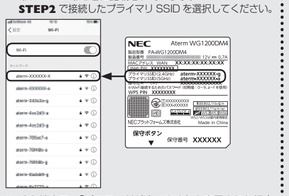
スマートフォン／タブレット端末の場合

※ 以下は iOS 端末を主な例に説明しています。機種・バージョンにより異なる場合があります。

1 ホーム画面などから［設定］をタップする

2［Wi-Fi］をタップする

3「Wi-Fi」をオンにして、本機器のプライマリ SSID と同じ名前をタップする
※ 本機器のプライマリ SSID は、本機器のラベルに 2.4GHz 帯、5GHz 帯ごとに記載されています。
STEP2 で接続したプライマリ SSID を選択してください。



※ iOS 端末で、「パスワードが違います」と表示された場合は、［OK］をタップします。
※ Android 端末で、**STEP2** で接続した本機器のプライマリ SSID をタップしても手順4に進まない（「パスワード」の入力画面が表示されない）場合は、同じプライマリ SSID をロングタップし、「変更」または「ネットワークを変更」を選択して、手順4に進みます。

4「パスワード」に、**STEP4** で変更した本機器の暗号化キーを入力し、［Join］（または［接続］）をタップする

5 ステータスバーに下記のアイコンが表示されることを確認する

iOS 端末の一例　Android 端末の一例

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

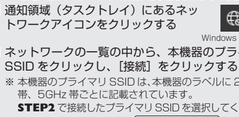
無線 LAN 内蔵パソコンの場合（Windows 10/8.1 の場合）

※自作のパソコンはサポート外となります。

※ Windows 8.1 の場合は、［スタート］画面で［デスクトップ］を選択してからはじめてください。

1 パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にする
※ 設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

2 通知領域（タスクトレイ）にあるネットワークアイコンをクリックする


Windows 10 の例

3 ネットワークの一覧の中から、本機器のプライマリ SSID をクリックし、［接続］をクリックする
※ 本機器のプライマリ SSID は、本機器のラベルに 2.4GHz 帯、5GHz 帯ごとに記載されています。
STEP2 で接続したプライマリ SSID を選択してください。

※ 接続に失敗した場合は、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

＜ Windows 10 の場合＞
① 通知領域（タスクトレイ）にあるネットワークアイコンをクリックする
②「ネットワークとインターネットの設定」－「Wi-Fi」－「既知のネットワークの管理」をクリックする
③ 接続するネットワーク名（SSID）をクリックし、［削除］をクリックする

＜ Windows 8.1 の場合＞
①通知領域（タスクトレイ）にあるネットワークアイコンをクリックする
②ネットワークの一覧で本機器のプライマリ SSID を右クリックし、「このネットワークを削除」をクリックする

上記の手順が完了したら、手順2に戻って接続し直してください。

4 **STEP4** で変更した本機器の暗号化キーを入力して［次へ］をクリックする

WPS に対応した無線 LAN 内蔵パソコンの場合
WPS で設定できます。(※)
STEP2 にある「WPS に対応した無線 LAN 内蔵パソコンの場合」を参照してください。
（※）本機器を WPA3 が含まれる暗号化モードに設定した場合は、WPS で設定できません。その場合は、手順4～6の画面にて、**STEP4** で変更した暗号化キーを入力してください。

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本機器を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。なお、さらに詳細な内容を［ユーザーズマニュアル］に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマーク説明

- ⚠ 警　告：人が死亡する、または重傷（※1）を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ 注　意：人が軽傷（※2）を負う可能性が想定される内容、および物的損害（※3）のみの発生が想定される内容を示しています。
- STOP お願い：本機器の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

（※1）重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさしています。
（※2）軽傷：治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。
（※3）物的損害：家屋、家財および家畜、ペットなどにかかわる拡大損害をさしています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号
発火注意　感電注意　高温注意　破裂注意

■ 行為を禁止する記号
一般禁止　分解禁止　ぬれ手禁止　水ぬれ禁止　風呂等での使用禁止　火気禁止

■ 行為を指示する記号
一般指示　電源プラグをコンセントから抜け

⚠ 警　告

電源

- 100V AC の家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
- AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。
- AC アダプタは、必ず本機器に添付のものをお使いください。また、本機器に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。
- 本機器に添付の AC アダプタは日本国内 100V AC（50/60Hz）の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- AC アダプタをコンセントに差し込んだ状態で、AC アダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。特に、回転式の抜け止め型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力をかけないように注意してください。

こんなときは（本体および AC アダプタ）

以下の場合は、すぐに本機器の AC アダプタをコンセントから抜いて、本機器の入手元またはお問い合わせ窓口にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。また、c、d、e のような使いかたはしないでください。

a. 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のとき
b. 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のとき
c. 本機器を水や海水につけたり、ぬらしたとき
d. 本機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしたとき
e. 本機器を落としたり破損したとき

禁止事項（本体および添付品）

- 本機器は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。
- 本機器を分解・改造しないでください。
- ぬれた手で本機器を操作したり、接続したりしないでください。
- 本機器の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本機器の電源を切ってください。
- 本機器は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
- 本機器のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

⚠ 注　意

設置場所（本体および添付品）

本機器を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用して、本機器の周囲に十分なスペースを確保してください。
また、設置の際は、以下のことにご注意ください。

- 本機器は温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 90%の結露しない環境でご使用ください。
- 本機器を重ね置きしないでください。
- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本機器の上に重いものを置かないでください。
- 通風孔をふさがないでください。次のような使いかたはしないでください。
  ＜悪い例＞
  ・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  ・じゅうたんや布団の上に置く
  ・テーブルクロスなどを掛ける
- 大きな衝撃や振動などが加わる場所や垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。
- ベニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。

電源

- 本機器の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ本体を持って抜いてください。
- 本機器の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。
- お手入れの際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、本機器の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本機器の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本機器の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。

禁止事項（本体および添付品）

- 本機器に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 壁掛けで使用している場合、ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、必ず本機器を手で支えながら行ってください。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。
  間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

STOP お願い

設置場所（本体および添付品）

- 本機器をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 本機器と子機の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

禁止事項（本体および添付品）

- 本機器の電源を入れたあと、すぐに電源を切らないでください。60 秒以上の間隔をあけてから電源を切ってください。すぐに電源を切ると故障の原因となることがあります。
- 本機器の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

本機器で使用しているソフトウェアについて

本機器には、GNU General Public License（GPL）または GNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL にしたがい、複製、頒布および改変することができます。詳細は［ユーザーズマニュアル］を参照してください。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。
本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、本製品の入手元またはお問い合わせ窓口にご相談ください。

廃棄方法について

この製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本機器の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
（6）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

■ Aterm、らくらく無線スタート、らくらく QR スタートは、NECプラットフォームズ株式会社の登録商標です。　■ Wi-Fi、Wi-Fi Alliance および WPA3 は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。　■ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
■ Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。　■ Android は、Google LLC の商標または登録商標です。　■ Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。　■ Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
■「QR コード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。　■その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。
© NEC Platforms, Ltd. 2020-2024　NECプラットフォームズ株式会社の許可なく複製・改版、および複製物を配布することはできません。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本機器間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウィルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）
等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。
セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本機器の暗号化キー、PIN コードは初期値から変更してください。変更は、クイック設定 Web で行います。暗号化キーは「Wi-Fi 詳細設定」、PIN コードは「WPS 設定」の画面で変更してください。

自動バージョンアップ機能・保守サービス機能に関する許諾について

●自動バージョンアップ機能は、本機器のソフトウェアに更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。本機能に関して許諾いただけない場合は、機能を無効にすることができます。
なお、本機能は、クイック設定 Web から下記のように設定することができます。（☞ 右記「クイック設定 Web の起動方法」）
【更新があったら、すべてバージョンアップする場合】（工場出荷時の設定）
「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
「時刻指定バージョンアップ機能」：ON
【重要な更新のみバージョンアップする場合】
「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
「時刻指定バージョンアップ機能」：OFF
※「メンテナンスバージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「詳細設定」－「その他の設定」画面（ブリッジモードまたは中継機／子機として使用する場合は「基本設定」－「基本設定」画面）、「時刻指定バージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」画面にて設定できます。
※「時刻指定バージョンアップ機能」では、自動的にソフトウェアを更新し、機能追加／変更を行います。意図しない機能追加／変更の更新を行いたくない場合は、「時刻指定バージョンアップ機能」を「OFF」（重要な更新のみバージョンアップする）に変更することもできます。
※自動バージョンアップ機能が実施されると、再度の設定や操作が必要となる場合があります。
※「重要な更新」とは、NEC プラットフォームズ株式会社（以下「当社」とします。）が本機器の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新である場合は、事前に製品サポートページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。
自動バージョンアップ機能が実施されると、本機器が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従量制課金契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様ご負担となります。
本機能では、本機器に関する情報のうち、本機能が動作するために必要な最小限度の機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本機器や本機能の改善・向上のためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続き同様に適切な管理を実施します。
本機能は、工場出荷時に有効（「ON」）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、クイック設定 Web で機能を無効（「OFF」）にしてください。（「メンテナンスバージョンアップ機能」を「OFF」にすると、「時刻指定バージョンアップ機能」も自動的に「OFF」となります。）ただし、本機能を無効にした場合、重要なソフトウェアの更新（例えばセキュリティ上の不具合を改善する更新など）であっても、自動的にバージョンアップは行いません。必ず、お客様が「手動」でバージョンアップを行ってください。
●保守サービス機能は、本機器に対してインターネットを介して保守を行う機能です。
保守サービスの際には、必要な最小限度の機器情報・ネットワーク情報が当社の運用するサーバへ通知されます。また、クイック設定 Web で表示される情報が当社に開示されます。これらの情報は、保守サービスのためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続き同様に適切な管理を実施します。本機能に関して許諾いただいたあと、本機能が利用可能となります。
※保守サービスの内容などは予告なく変更させていただく場合があります。

電波に関する注意事項

●本機器は、技術基準適合証明を受けています。
●IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz 帯）、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
●5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch（W52）と 52,56,60,64ch（W53）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch（W56）です。従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch（J52）の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。

IEEE802.11a/n/ac	・W52（5.2GHz 帯/36,40,44,48ch）、
J52 W52 W53 W56	W53（5.3GHz 帯/52,56,60,64ch）、
	W56（5.6GHz 帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）が利用できます。

5GHz 帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。
・W52（5.2GHz 帯/36,40,44,48ch）
・W53（5.3GHz 帯/52,56,60,64ch）
・W56（5.6GHz 帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）

●W53（52,56,60,64ch）または W56（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
・各子チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
●IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
（1）本機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）万一、本機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本機器の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、本機器の入手元またはお問い合わせ窓口にご連絡ください。
●Bluetooth 機器との通信はできません。
●IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF 4	2.4：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
	DS/OF：DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
	4：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
IEEE802.11b/g/n	■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

●本機器を 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人　電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。
「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれかにすることを推奨します。」
ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャネルの設定方法は［ユーザーズマニュアル］を参照してください。）
●デュアルチャネル、クワッドチャネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。
- デュアルチャネル、クワッドチャネルを「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かめください。
- 万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　VCCI－B

高調波電流抑制対策について

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品
※消費電力 75W 以下のため適合

初期化方法

うまく動作しない場合や工場出荷状態に戻したい場合は、下記の手順で初期化してください。簡号化キー、管理者パスワードは初期値に戻り、お客様にて設定した内容は消去されます。初期化後は、本機器をより安全にお使いいただくために、暗号化キー、管理者パスワードは初期値から変更してください。（☞**STEP4**）なお、初期化する前に、クイック設定 Web（ホーム画面）の［詳細な項目を表示］－［メンテナンス］－［設定値の保存＆復元］にて現在の設定内容を保存すれば、初期化後に同画面にて復元することができます。（ただし、管理者パスワードは復元できません。）

1 本機器の POWER ランプが緑点灯していることを確認する
※電源を入れ直した場合や電源を入れた直後の場合は、約 60 秒お待ちください。

2 RESET スイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの。つまようじの先など。）で押し続け、POWER ランプが赤点滅をはじめたら放す
※POWER ランプが赤点滅をはじめるまで約 6 ～ 10 秒かかります。

3 本機器から AC アダプタのプラグを取り外して、約 10 秒待ってから差し込む

4 約 80 秒待つ
※側面（表）のランプが一斉に緑点滅したあと、POWER ランプが緑点灯したら初期化が完了します。本機器が起動するまでしばらくお待ちください。

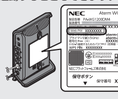
本機器の設定を変更する場合は

本機器の設定を変更する場合は、設定画面「クイック設定 Web」で設定します。

クイック設定 Web の起動方法

Web ブラウザのアドレス欄に下記を入力して起動してください。
http://aterm.me/

※「aterm.me」部分を、本機器の IP アドレス（工場出荷状態は 192.168.10.1）にして起動することもできます。
※ ログイン画面が表示された場合は、「ユーザー名」には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」には管理者パスワードを入力して、［ログイン］をクリックしてください。管理者パスワードは、本機器のラベルに記載された英数字 8 桁のパスワード（Web PW）が初期値となります。この管理者パスワードは、初期値から変更してください。（☞**STEP4**）なお、管理者パスワードを変更した場合は、クイック設定 Web 起動時には変更したパスワードを入力してください。忘れた場合は、本機器を初期化すると（☞ 左記「初期化方法」）、本機器のラベルに記載された英数字 8 桁のパスワード（Web PW）に戻ります。



※ クイック設定 Web で設定した内容は、［設定］をクリックしたあと本機器を再起動することで登録されます。
※ ブリッジモード（ルータ機能停止）で使用する場合または中継機／子機として使用する場合は、下記の手順で起動してください。
詳細な起動方法は［ユーザーズマニュアル］を参照してください。
① 本機器の電源をいったん切る
② 本機器の LAN ポートとパソコンなどの端末を LAN ケーブルで接続する
③ 本機器のらくらくスタートボタンを押しながら電源を入れ、CONVERTER ランプが緑点滅したら放す
→ 本機器の強制 DHCP サーバ機能が起動します。起動中は CONVERTER ランプが緑点滅します。
④ Web ブラウザのアドレス欄に下記のアドレスを入力して起動する
ブリッジモードで使用する場合　：http://192.168.1.210/
中継機／子機として使用する場合：http://192.168.1.245/
強制 DHCP サーバ機能を停止するときは、本機器を再起動してください。（「設定変更受付完了」画面で［今すぐ再起動する］をクリックするか、ホーム画面の［詳細な項目を表示］－［メンテナンス］－［再起動］画面で［再起動］をクリックしてください。）
手順②で本機器の LAN ポートに接続した LAN ケーブルは、再起動が完了したあと、取り外すことができます。

●本機器と同一のネットワークに Wi-Fi 接続したスマートフォン／タブレット端末をご利用の場合
→「Aterm スマートリモコン」アプリ（無料）でも起動することができます。［ユーザーズマニュアル］
●本機器と同一のネットワークに Wi-Fi 接続または有線接続したパソコン（Windows）をご利用の場合
→「Aterm 検索ツール」でも起動することができます。［ユーザーズマニュアル］

ブリッジモードで使用する場合は

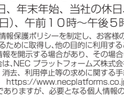
別途ご利用のルータまたはルータ機能内蔵のブロードバンドモデムなどに本機器を接続する場合は、ブリッジモード（ルータ機能停止）を使用します。ブリッジモードに設定するには、下記の手順で設定してください。

① 本機器の電源を切った状態で RT/BR/CNV モード切替スイッチを BR 側に切り替え、本機器の電源を入れる
※ しばらくして ACTIVE ランプが橙点灯すれば、ブリッジモードに設定完了です。
※ ルータ機能内蔵のブロードバンドモデムなどの接続には、本機器の WAN ポートをご使用ください。
② **STEP4** を参照して、本機器の暗号化キーと管理者パスワードを初期値から変更する

中継機／子機として使用する場合は

本機器は、親機と子機の間で電波を中継（リレー）する中継機として使用したり、LAN ポートにテレビ、パソコン、ゲーム機などの端末を接続して子機（イーサネットコンバータ）として使用したりすることができます。本機器を中継機／子機として使用するには、下記の手順で設定してください。詳細な設定方法は［ユーザーズマニュアル］を参照してください。
※ 下記手順の親機は、Aterm シリーズを例にしています。

① 本機器の管理者パスワードを初期値から変更する
※ 初期値からの変更は、ルータモード（RT/BR/CNV モード切替スイッチが RT 側）で行います。
※ **STEP1** の❶と❷→ **STEP2** → **STEP4** の❶と❸を実施してください。
② 本機器の電源を切った状態で RT/BR/CNV モード切替スイッチを CNV 側に切り替え、本機器の電源を入れる
※ しばらくして CONVERTER ランプが橙点灯します。
（緑点灯している場合は子機としてのみ設定され、中継機能は OFF に設定されています。）



③ 本機器のらくらくスタートボタンを長押しして、POWER ランプが緑点滅になったら放す
④ 親機のらくらくスタートボタン（WPS プッシュボタン）を長押しして、親機の POWER ランプが緑点滅したら放す
⑤ 本機器の POWER ランプが橙点灯になることを確認する
※ しばらくして本機器の POWER ランプが緑点灯、ACTIVE ランプが緑点灯または橙点灯すれば、設定完了です。

トラブルシューティング

ご利用にあたり、考えられるトラブルとその対処を下記に記載します。
※ 解決しない場合は、本機器を初期化（☞ 左記「初期化方法」）し、はじめから設定し直してお試しください。

■ **CATV（ケーブルテレビ）回線を使用しているが、ACTIVE ランプが点灯せず、インターネットに接続できない**
ご使用のモデムによっては、過去に接続したネットワーク機器の MAC アドレスを記憶しているため、モデムの設定をリセットする必要があります。本機器、モデムの順番で電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直します。詳しくは、ご利用のケーブルテレビ会社へご確認ください。

■ **ACTIVE ランプが橙色に点灯している**
故障や通信エラーではありません。ブリッジモード（ルータ機能停止）で動作している状態です。（本機器を中継機／子機として使用する場合は、親機と 5GHz 帯の Wi-Fi で接続している状態です。）

■ **クイック設定 Web が開かない**
●ご使用のパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。
●Web ブラウザの設定で JavaScript を無効に設定している場合は、有効に設定してください。
●IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。

■ **側面（表）のすべてのランプが赤点灯している**
本機器の故障を検知したため、復旧の準備状態です。
●このあと、POWER ランプが橙点灯、その他のランプが赤点灯になった場合は、自動で復旧していますので、約 120 秒お待ちください。POWER ランプが緑点灯になったら、復旧は完了です。
●中継機／子機として使用する場合（RT/BR/CNV モード切替スイッチが CNV 側の場合）は、下記の手順で復旧してください。
＜中継機／子機として使用する場合の復旧方法＞
① 本機器の電源をいったん切る
② RT/BR/CNV モード切替スイッチを RT 側に切り替える
③ 本機器の WAN ポートと親機の LAN ポートを LAN ケーブルで接続する
④ 本機器の電源を入れる
⑤ POWER ランプが橙点灯、その他のランプが赤点灯になったら、約 120 秒待つ
⑥ 本機器の POWER ランプが緑点灯になることを確認する
⑦ 本機器の電源を切る
⑧ 本機器の WAN ポートと親機の LAN ポートを接続している LAN ケーブルを取り外す
⑨ RT/BR/CNV モード切替スイッチを CNV 側に切り替える
⑩ 本機器の電源を入れる

本機器の取扱説明書について

本機器の取扱説明書は下記のように構成されています。

■ **つなぎかたガイド（本書）**
基本的な接続パターンを例にして、インターネットが使えるようになるまでの接続・設定手順を説明しています。
また、ご使用前に確認していただきたい注意事項、トラブルシューティングも記載しています。

■ **ユーザーズマニュアル（Web サイトに掲載）**
本機器のさまざまな機能を利用してできることを、わかりやすい操作・設定手順で説明しています。
また、本機器の基本事項についても記載しています。下記、製品サポートページからも参照してください。

お問い合わせ

（2024 年 3 月現在）

■ **製品サポートページ「Aterm Support Information」**
https://www.aterm.jp/sl-support/wg1200dm4/

■ **故障、修理に関するお問い合わせ**
本機器の入手元またはご契約のプロバイダのお客様窓口へご連絡ください。

■ **Aterm の操作に関するお問い合わせ**
本機器の入手元またはご契約のプロバイダから指示された窓口にお問い合わせください。
指示がない場合は、下記、Aterm（エーターム）インフォメーションセンターへご連絡ください。
ナビダイヤル　TEL：0570-550777（携帯電話からも同一番号です。）
※ 通話料はお客様ご負担です。
※ サービス内容などは予告なく変更させていただく場合があります。最新情報は製品サポートページでご確認ください。
＜お問い合わせ受付時間＞（祝日、年末年始、当社の休日、システムメンテナンス時は休ませていただきます。）
午前 9 時～午後 5 時（月～土曜日）、午前 10 時～午後 5 時（日曜日）

【個人情報の取り扱いについて】当社では、個人情報保護ポリシーを制定しております。お客様から提供いただく情報に含まれるお客様の個人情報は、お客様への連絡やお問い合わせにお答えするために取得し、他の目的に利用することはありませんし、また、お客様の承諾なく第三者へ個人情報を提供することはありません。ただし、業務を委託するために業務委託先に個人情報を開示する場合があり、その場合には秘密保持条項などを含む契約を締結したうえで委託し、個人情報を適切に管理します。
個人情報に関するお問い合わせやご相談がある場合は、NEC プラットフォームズ株式会社 - Aterm（エーターム）インフォメーションセンター（☞ 上記）までお願いいたします。
お客様の個人情報の開示、利用目的の通知、訂正、消去、利用停止等の求めに関する手続きおよび窓口は以下のサイトをご確認ください。
NEC プラットフォームズ　個人情報保護サイト　https://www.necplatforms.co.jp/site/policy.html
お客様からの個人情報のご提供はあくまでも任意であります。必要となる個人情報の一部であっても提供いただけない場合は、当社からの情報提供を受けられないことがあります。